

第462号 2011. 12/5

社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321  
 URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324  
 発行人 高橋 廣

目 次	
前期技能検定合格発表	1
プラスチック成形合格者名簿	1
全日本プラ IPF幕張メッセへ出展他	3
IPF2011見学記(四季)	4
事務局レポート	5
東西中3 JPO交流会	6

## おめでとうございます 前期技能検定合格発表 プラスチック成形技能士が誕生しました

平成23年9月30日(金)東京都から23年度前期技能検定試験(プラスチック成形職種)の合格発表が行われ、「射出成形作業」では1.2級合計82名、「圧縮成形作業」では1.2級合計3名、総計85名の技能士が誕生致しました。

今年度は3年に1回公示される「圧縮成形作業」が実施され1.2級で4名の受検申請がなされ、内3名が合格、合格率75%と好成績でした。現在技能検定の置かれている状況は、先般の事業仕訳から受検者数の少ない職種・作業の統廃合が進行中であり、「圧縮成形作業」もその一つに挙げられていることから、今回新たに圧縮成形作業の技能士が誕生したことは、プラスチック業界にとって喜ばしいことだと思います。

また「射出成形作業」の東京都合格率は1級31.9%、2級52.7%、合計44.6%です。全国ベ-

スでは1級26.0%、2級36.1%、合計32.6%ですから好成績です。(尚、今年度は先日の東日本大震災の影響から一部の県で実技試験実施期間の延長が認められ、現時点では一部の県で発表未了の為、正確には全国レベルの数値では有りません。)

今年度の実技試験は8月5日(金)の会場準備・検定用金型の事前確認に始まり、翌8月6日(土)から8月21日(日)まで実技試験を実施。8月27日製品採点、後片付けで無事終了しました。検定開始前は震災の影響で電力・材料確保等多々不安要因を抱えていましたが、今年度も会場提供を頂いた東京都立中央・城北職業能力開発センター板橋校様を初め、数多くの皆様のご支援・ご協力のもと、お陰様で特に大きな事故・怪我無く無事終了いたしました。この場をお借りいたしまして、心から御礼申し上げます。

### 平成23年度 前期技能検定「プラスチック成形」合格者名簿

1級技能士「圧縮成形作業」(1名)

申請者総数2名 中合格者1名

氏名 勤務先  
布沢知昭 栃木日信株式会社

## 2級技能士「圧縮成形作業」(2名)

氏名	勤務先
牧島孝仁	栃木日信株式会社

申請者総数2名 中合格者2名

氏名	勤務先
大見太郎	栃木日信株式会社

## 1級技能士「射出成形作業」(23名)

氏名	勤務先
色谷直樹	株式会社 ヒロプラス
高橋雄一	株式会社 吉野工業所
石川智規	株式会社 吉野工業所
下条寛	株式会社 吉野工業所
佐藤岳人	株式会社 吉野工業所
植竹立	不二プラスチック株式会社
中村久智	睦化工株式会社
宮田泰夫	マリンプルーブロー株式会社
鈴木等	新興産業株式会社
金坂康男	マブチモーター株式会社
白石修身	吉田テクノワークス株式会社
柄澤実	吉田テクノワークス株式会社

申請者総数72名 中合格者23名

氏名	勤務先
張明	吉田プラ工業株式会社
河住武志	豊合成樹脂株式会社
川村和彦	株式会社 サン精密化工研究所
佐藤幸一	株式会社 サトーゴーセー
仲村康則	株式会社 エコー
轟貞彦	株式会社 エコー
戸花英樹	株式会社 エコー
津嘉田直也	KIISCO株式会社
高橋忠嗣	KIISCO株式会社
秦野佳也	駒沢化成株式会社
山路賢太	駒沢化成株式会社

## 2級技能士「射出成形作業」(59名)

氏名	勤務先
鵜野利宏	シチズン時計株式会社
冨田智寛	株式会社 ヒロプラス
五味智行	株式会社 和商工
平尾匠	株式会社 和商工
佐藤宏樹	睦化工株式会社
菊地克俊	春日精工株式会社
八代邦明	天馬株式会社
平内康介	吉田テクノワークス株式会社
伊藤広樹	吉田テクノワークス株式会社
藤本雅之	吉田テクノワークス株式会社
金田佳晃	株式会社 YPK
楢山雄太	株式会社 YPK
中尾友樹	株式会社 吉野工業所
佐藤隆則	株式会社 名和
市村周一	光プラスチック株式会社
野澤卓也	不二プラスチック株式会社
宮本誠	不二プラスチック株式会社
雷久保彰人	かねひろ株式会社
劉鵬	鈴野化成株式会社
石川浩一	泰興物産株式会社
堂前光弘	三恵技研工業株式会社
加藤幸成	株式会社 サトーゴーセー
藤田大輔	山下電気株式会社
中平悠	吉田プラ工業株式会社
高須誠	吉田プラ工業株式会社
關谷智光	住友化学株式会社
田島宏一郎	住友化学株式会社
小宮敏希	住友化学株式会社
村田佑允	天馬株式会社
東風晋太郎	株式会社 荒川樹脂

申請者総数112名 中合格者59名

氏名	勤務先
栗原正弘	ツバキ山久チエイン株式会社
高木忠	株式会社 ヤシマ
田中昭彦	株式会社 第一化成製作所
加我巧	進栄化工株式会社
高久雅彦	山崎産業株式会社
大家慎一郎	マブチモーター株式会社
山崎雅裕	マブチモーター株式会社
伊藤佑介	積水化学工業株式会社
深沢一仁	山下電気株式会社
羽生光範	株式会社 ミノワ化成
岡崎悠理	ヤマト・インダストリー株式会社
中村友哉	ヤマト・インダストリー株式会社
照井智之	ヤマト・インダストリー株式会社
前原彰	菱馬テクニカ株式会社
益子耕介	森六プレシジョン株式会社
沼田義央	株式会社 日昌製作所
山崎一博	株式会社 日昌製作所
木村充仁	共和合成株式会社
河崎真之	株式会社 エコー
秋山崇	山下電気株式会社
高添進矢	山下電気株式会社
井上歩	株式会社 サトーゴーセー
前田堅伍	住友化学株式会社
齋藤恵一郎	株式会社 荒川樹脂
本間正弘	株式会社 ケーヒン
高橋晋	株式会社 ワイ・ティ・エス
長谷川健	株式会社 正電社
小関啓太	株式会社 植田電器製作所
田代裕規	株式会社 植田電器製作所

## 全日本プラスチック製品工業連合会

### ～ IPF幕張メッセへ出展～

幕張メッセで開催されたIPF2011(10月25日～29日)に、初めて当連合会のブースで出展した。同プラスチック展は3年に1回開催され、今回は内外企業751社が出展、会期中66,642人が来場した。



当連合会も1ブース(3×3m)で初出展し、事業活動の写真パネル10枚を掲示、また会員が休める椅子、テーブルを常置しました。期間中約80名の来場者がありました。

10月28日(金)午後には、国際会議場にて第167回理事会を開催するなど、IPFに合わせた行事を開催しました。



## 全日本プラスチック製品工業連合会 五十嵐会長

### ～ ナフサ非課税、恒久化決起集会で訴える～

11月15日(火)11時30分、衆議院第2議員会館にて、化学業界5団体が標記決起集会を開催、各団体の会員企業から約150名が参加し、民主党国會議員20数名に“共同決議”として訴えました。



全日本プラスチック製品工業連合会からは9名が出席し、石油化学工業協会・高橋会長、日本化学工業協会・藤吉会長に続き、当連合会の五十嵐会長が登壇し、「毎年、ナフサ課税へ断固反対の訴えをしているが根本的な解決に繋がらない。日本企業を優遇してくれとは言っていない、他国企業と同じ土俵で戦わせてほしいといっているだけ。デフレ経済、震災、夏場の電力不足、超円高等



中小企業は苦境に陥っている。是非、ナフサ非課税、恒久化で中小企業を安心させていただきたい」と訴えました。

全ての出席議員から、実現のため強く働きかける旨の約束を戴いた。



11月21日(月)夕方、上記化学業界5団体会長は、経済産業省・牧野副大臣を訪れ、共同決議文書を読み上げて副大臣へお渡しし、個別会長よりそれぞれの立場から「ナフサ非課税、恒久化」をお願いしました。

## IPF2011見学記 (四季)

IPF (International Plastic Fair) は3年に1回日本で開催されるゴム・プラスチック総合国際見本市である。今回のIPF2011は10月25日から29日の5日間にわたって幕張メッセ会場で開催された。



国際プラスチックフェア協議会によると5日間で43,745名が来場したと報告されている。今見本市の特徴は専門分野に的を絞り、8つの専門分野に分けて出展された。それらの専門分野の1つであるプラスチック成形機・成形関連システム展では、導光板成形、LEDレフレクターのフープ成形、微細コネクター、医療器具などの薄肉ハイサイクル成形、ヒート&クール成形など、わが国の得意技を中心とした成形実演が多く見かけられた。次にこれらの成形に直接、間接に関係するガス抜き対策について出展技術を紹介する。

導光板、微細コネクター、医療器具などの成形では、金型の高精密化や射出速度の高速化が進められるに従って、成形時に発生するガス抜き対策の重要性が高まっている。対策としては溶融樹脂から発生するガス分を可及的に少なくすることとキャビティ内のガスおよびエアを金型外に速やかに排出することがある。これらの対策が不十分であると、成形上ではベント孔詰まり、未充填、型表面汚れ、金型腐食などの不良が起こる。また、成形品には銀状、気泡、表面曇り、寸法不良(デポジット)、変色、焼け筋、樹脂焼け、黒点(炭化物)などの不良が発生する。今回のIPFではこれらの対策技術として、いろいろな成形実演や金型部品の出展が見かけられた。

スクリュの供給部や圧縮部にはエア(酸素)が存在する。樹脂の種類によって影響の程度は異なる

が、高温下で酸素と接触すると酸化作用により変色や熱分解が起こる。ファナック(株)はROBOSHOT S-2000i150Bを用い、シリンジ(材料:COP)の成形実演を行っていた。適量供給装置を用い、さらに供給部を窒素パージして樹脂焼け、炭化物などを防止し高品質医療器具の成形を行っていた。(株)日本製鋼所は、J35AD-LS-15Hを用い、医療器具のキュベット(材料:COC)を成形実演していた。真空装置と定量フィーダを組み合わせしたJ-Melterを用い焼け、異物防止と安定化した可塑化の実演を行っていた。

一方、樹脂の中に微量に含まれている未反応成分や反応助剤、添加剤、充填材の表面処理剤、水分などはガス発生の原因になる。これらの対策として、ベント式射出成形機の成形実演または提案があった。(株)ソディックプラスチックは、LA60-Ventを用いウォータポンプ部品(材料:PPS)を成形していた。同機はスクリュプリプラ式射出成形機(Vライン)の可塑化シリンダの溶融ゾーンに真空ベント口を設けている。インラインスクリュ式に比較するとスクリュは定位置で回転するので安定したベント効果が得られるという。同社の通常のVラインに比較するとガスによる金型付着物は40%少なくなるという。また、(株)日本油機では、既存の射出成形機のシリンダをベント式シリンダユニットに交換する提案を行っていた。同社ではベントユニットは20t~1200tに対応できると言われる。

可塑化時のせん断力によって樹脂が熱分解することでも変色したり、ガスが発生する、住友重機械工業(株)では圧縮ゾーンのないSLスクリュを搭載した射出成形機を、(株)日本製鋼所はVP(不等ピッチ)スクリュを、東洋機械金属(株)は圧縮比の小さいSAGスクリュを出展していた

型内のエア、ガス分を型外に排出する装置やベント用金型部品の出展も見られた。(株)システムリソーセズは金型内真空ガス抜き装置GVZ-S型を、(株)松井製作所および(株)OPMラボラトリーは真空引機能付きガスブラスターMVGB-4,5(ガスベント孔を逆洗可)を、パンチ工業(株)や(株)プラモール精工はガス抜きピンを出展していた。

(案山子)

## 事務局レポート

### ■第317回 理事会議事録

1. 日時 平成23年11月16日(水)  
14時30分～16時00分
2. 場所 東日本プラスチック工業厚生年金  
基金会館 第三会議室

#### 3. 出席者

大野 泰昭	大井 英一	齋藤 森作
池下 龍	鈴木 幸雄	竹下 富男
嶋田 修二	川野 幸博	内藤 隆夫
須崎 一	白石 恵一	平塚 隆文
曾我部 上	滝口 裕	福田 晴通
小松 幹也	肥後 武重	樫山 徹
森下 誠一	武田 久徳	井口 孝司
高橋 廣		

以上出席22名、委任16名 計38名  
(理事総数38名)

#### 4. 会長挨拶

北風が吹きコートがほしい季節になりました。最近の経済状況はご承知の通り超円高や欧米景気の後退等もあって悪くなっています。パナソニックは今期の最終赤字は4,200億円、理由は半導体リストラ費用5,000億円及びテレビ売上減少が主因とのこと。ソニーも900億円の赤字で、特にテレビ売上が半減し同部門は1,750億円の赤字見込みとの事で2社ともにテレビが足を引っ張っているのが実情です。黒字決算を続けてきた任天堂も今期200億円の赤字とのこと。このように日本を代表する優良企業が軒並み赤字決算になる等厳しい状況になりました。

業界アンケートでも、超円高下における貴社の生き残り戦略は？との質問に、「海外進出」の回答が増えてきました。先週の日経で中小企業が海外進出との記事が見られ、葛飾区の会員19社はベトナム視察して共同進出を検討、群馬県金型工業会はメキシコ進出等が掲載されていました。また、日本政策金融公庫によると「海外展開資金」の利用件数が250件で去年の2倍になったとの事でした。現在、全日本プラ連合会では、来年度税制改正の中で、政府税調ヘナフサ課税阻止の働きかけを行っております。

本日は本年最後の理事会であり、1月の賀詞交歓会の件、2年後の50周年記念事業等の議題



など盛りだくさんあり、スムーズな会議の進行をお願いし挨拶とした。

#### 5. 議事

##### 議題1. 経過報告

##### (1) 役員会等の開催

9月14日 第316回理事会 東プラ基金会館  
(終了後、「省エネマニュアル」説明会を開催)

##### (2) 部会・委員会の開催

##### ① 技能検定運営委員会

10月3～14日 後期検定申請受付

東プラ工業協会

10月14日 前期検定反省会

板橋校

##### ② 能力開発推進委員会

10月22～23日 オーダー講習(①,②) 板橋校

11月5～6日 オーダー講習(③,④) 板橋校

##### ③ 青年経営研究会(JPO)

9月27日 役員会

東プラ工業協会

10月28日 東西中JPO交流会

三菱化学HD見学、屋形船

##### ④ 経営改善強化部会

11月8日 役員会・忘年会

東プラ工業協会

##### ⑤ APM会

11月1日 第157回例会

久能CC

##### (3) 支部会等開催

9月20日 品川支部会

品川「虎之助」

10月6日 城南支部会

目黒「大和路」

10月13日 江東支部会 東武ホテルレバント

10月20日 埼玉支部会

浦和「満寿家」

##### (4) 全日本プラ連合会

9月29日 服部氏叙勲を祝う会

名古屋キャッスルホテル

10月25～29日 IPF2011 ブース出展

幕張メッセ  
 10月28日 第167回理事会 幕張メッセ  
 11月15日 ナフサ非課税化、国内空洞化阻止  
 決起集会 第2議員会館

## 議題2. 会員の入会・退会承認の件

### (1) 退会の部

正会員 1社

①会社名 (株)プラメックス 城南支部

賛助会員 2社

①会社名 (株)ミスミ

②会社名 (株)ムトウ

## 議題3. 平成24年新年賀詞交歓会開催の件

新春講演会の講師は、今回は“モノを売る”をテーマとした、商業の大木ヒロシ先生を予定、貢献者表彰式では、対象者は3名を予定。祝賀会では、関東経産局の製造産業課長が交代(勝本光久氏→久世尚史氏)し新課長がご挨拶を予定。原案どおり承認された。

## 議題4. 創立50周年記念事業の件

配布資料の通り、2年後の平成25年11月に当工業協会の創立50周年を迎える。

先月10/28日開催の全日本プラ連合会の理事会で、同連合会でも同時期に50周年を迎え、記念式典をホテルで開催する事が決議された。

平成15年の前回40周年は(当時は景気が低迷した時期でもあり)記念行事は実施しなかった。議長から議長へ諮ったところ、今回は節目の50周年のため、東日本プラ工業協会として記念事業を執り行う事について満場一致で承認された。

なお、連合会の周年行事と重ならないように開催日を少し外して実施し、本部会計の周年事業引当金を財源としたい旨提案し了承された。

## 【報告事項】

- ・技能検定運営委員会の報告  
 須崎検定運営委員長より東京都の前期検定(射出成形1,2級実技試験)の結果について報告した。夏場電力制限の暑い中、8/6-8/22まで実施、1級はレベルアップが見られて合格率が向上、2級は例年と同水準の合格であった。90点以上の高得点者は6名と多かったが、反面、残念ながら失格者も増えた。
- ・選衡委員会の報告  
 13時から第1回選衡委員会を開催、委員長に大塚副会長、副委員長に佐藤副会長を選出した。役員選衡規程の改訂を行うこととした。
- ・連合会活動  
 11/15ナフサ非課税恒久化 決起集会へ東から4名が参加、連合会から五十嵐会長が挨拶の壇上に立った。神奈川からも4名が参加。集会には5団体合計約150人が集まった。民主党代議士20名も出席しナフサ非課税の恒久化を強力に推し進めることを約束し終了した。  
 新年賀詞交歓会

(24.01.24八重洲富士屋ホテル)

- ・会員アンケート調査(23/10)結果
- ・APMニュース年賀広告のお願い
- ・本部23/10残高試算表
- ・協同組合からのお知らせ  
 別添資料、サラシタオルの斡旋
- ・製品技術部会工場見学会のご案内  
 (牧野フライス) 12/12(月)

以上をもって、第317回理事会における審議を終了し、議長は16時00分、理事会の閉会を宣した。

## 東西中3 J P Oの合同見学会、交流会

I P F期間中の平成23年10月28日、東西中3地区 J P Oの合同見学会と交流会が開催されました。当日14時から3地区25名が参加し、三菱化学HD本社内の「ケミストリー・プラザ」を見学しまし



た。同社グループの今後の戦略をわかりやすく体現したプラザを興味深く2時間をかけて見学しました。終了後は、総勢32名が参加し浅草橋から屋形船に乗船し夕暮れの隅田川を下って、賑やかに情報交換の実を上げました。



都立中央・城北職業能力開発センター板橋校

# プラスチック加工科 6ヶ月コース

## 求人のお願いと4月生募集

### 【求人のお願い】

プラスチック加工科では、射出成形技術について6ヶ月の訓練を行っています。訓練の目標として、射出成形技能検定2級程度の技術習得を主として目指し、金型の分解・組立て、旋盤などの工作機械を用いて金型の簡単な修理ができよう訓練に励んでおります。

訓練は平成24年3月に修了します。プラスチック加工科で専門知識 技能を習得した生徒を、社員として採用していただけるようご検討をお願い申し上げます。

※現在6名が訓練を行っています。

### 【平成24年 4月生募集】

- 訓練内容 金型の取付け・取外し、成形条件の設定、不良対策、金型のメンテナンス、仕上げ作業等の加工技術、CAD 操作などについて訓練いたします。
- 授業料 無料
- 選考内容 筆記試験(国語・数学)・面接
- 募集期間 平成24年1月6日(金)～2月3日(金)
- 選考日 平成24年2月15日(水)



お問い合わせは

東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校

174-0041 東京都板橋区舟渡2-2-1 (JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3~4分)

電話 03-3966-4131 FAX 03-3966-3161